

ルドルフ vol.9『ヒロインの仕事』
12月15日(木)・16日(金)公演
開演時間変更のお詫びとここまでの経緯について

各位

平素より、ルドルフの活動をご支援いただき誠にありがとうございます。ルドルフ主宰の筒井加寿子です。

既にホームページや SNS 等でお伝えしております通り、このたびルドルフは次回公演『ヒロインの仕事』の12月15日(木)と12月16日(金)の開演時間を、当初予定しておりました19時15分から19時に変更することといたしました。その経緯について、主宰である私からご説明させていただきます。

11月29日に初めての通し稽古(本番と同じように最初から最後まで通して行う稽古)を実施したところ、上演時間が約1時間50分になりました。ここからの2週間でもっと短くなる可能性はあるものの、場面を丸ごとカットするなど、大幅に時間を短くすることは難しい状況です。

出演者のひとりである南岐佐さんは中学1年生で、労働基準法により演劇公演への出演は21時までと定められています。このままいけば、19時15分からの上演にすると終演時間が21時を過ぎてしまう可能性が高くなり、南さんはカーテンコールまで出演することができなくなってしまうかもしれません。15日と16日の公演だけ南さんに途中で舞台から下りてもらおうという選択はできないため、確実に21時までに終演できるよう、開演時間を15分前倒しすることといたしました。

平日のみ19時15分からというやや中途半端な時間からの開演を決めたのは、仕事帰りや遠方のお客様に少しでも観劇をご検討いただけるように、と考えてのことでした。当初は100分程度の上演時間を目指しておりましたので問題ないと考えていたのですが、こうした事態を想定してもっと十分に余裕をもったスケジュールを設定すべきだったと、深く反省しております。主宰であり、脚本・演出を担当している私の見通しの甘さから、お客様や関係者の皆様にご迷惑をおかけする結果となってしまい、本当に申し訳ありません。心よりお詫び申し上げます。

念のための補足となりますが、ルドルフの正劇団員は現在私だけで、本公演の俳優・スタッフは今回のために私が出演やスタッフワークを依頼した皆さんです。開演時間決定の責任者は私だけですので、ご理解いただければ幸いです。

開演時間の変更に伴う対応につきましては、『ヒロインの仕事』特設サイト、および THEATRE E9 KYOTO の公演ページに掲載しておりますので、大変お手数ですがご一読ください。また、今後このようなことが起こらないよう、上演に伴う各条件の十分な確認・検討等、改善につとめてまいります。

作品のほうは、俳優・スタッフとも本番に向け全力で準備を進めております。このような事態となってしまい大変恐縮ですが、お時間が合いましたら、また作品にご興味をお持ち頂けたら、是非ともご来場頂ければ幸いです。

重ねてとなりますが、このたびはご迷惑をおかけしまして本当に申し訳ありません。最後までお読みいただきありがとうございます。

今後とも、ルドルフをどうぞよろしくお願い申し上げます。

2022年12月2日
ルドルフ主宰 筒井加寿子